コレクション展

中西夏之　光の条件

Nakanishi Natsuyuki — The Condition of Radiance

From the Museum Collection

2025.4.12 Sat – 6.29 Sun

神奈川県立近代美術館 葉山　展示室3b、4
The Museum of Modern Art, Hayama　Room 3b, 4

主催｜神奈川県立近代美術館

〒240-0111　神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
2208-1 Ishiki, Hayama, Kanagawa 〒240-0111
Tel. 046-875-2800
https://www.moma.pref.kanagawa.jp　𝕏@KanagawaMoMA

神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

中西夏之　なかにし・なつゆき　1935–2016

1935年7月14日、東京都品川区大井町生まれ。1958年、東京藝術大学美術学部油画科を卒業。

52年に砂を混ぜた顔料を地にしてスプレーガンと筆で図像を描いた連作〈顔〉を制作。62年に高松次郎、川仁宏とハプニング《山手線事件》を決行し、翌年には高松そして赤瀬川原平とともに三者の名前から命名した「ハイレッド・センター」を結成、さまざまなイベントを都市部で決行した。65年以降は舞踏家の大野一雄として土方巽と交流を深め、特に後者の『土方巽と日本人――肉体の反乱』(68年) をはじめとする舞台美術を多く担当し、80年代以降も天児牛大が率いる山海塾の舞台美術を手がけた。さらには美術評論家の瀧口修造や鎌澤龍彦らとも交流し、シュルレアリスムをはじめとする前衛美術への造詣もいっそう深めていく。

こうした、一見すると反芸術／前衛的ともとられる表現でその活動初期から大きな足跡を残した一方で、絶えず絵画そのものの存在・本質を問い続ける平面作品も60年代から発表。主な連作としては、絵具の豊かな階調と対称的な図像が印象的な〈山頂の石蹴り〉、巨大な円の一端＝弓形を主題とした〈弓形が触れて〉〈ℓ字型　左右の停止〉〈大括弧〉、白や緑そして黄緑の油絵具を用い2mほどもある長い絵筆で描くことで、色彩や光といった視点から絵画に迫った〈紫・むらさき〉〈中央の速い白〉などが挙げられる。

また自身の制作に関するノートや絵画論を多く著したことでも知られており、89年にはそれまでの雑誌寄稿文などをまとめた『大括弧 緩やかにみつめるためにいつまでも佇む、装置』(筑摩書房) を刊行した。一方で芸術全般の私塾である美学校の設立 (69年) に関わったのも「中西夏之アトリエ」「中西夏之・素描教場」を担当、96–2003年に東京藝術大学教授、2004–7年には倉敷芸術科学大学教授、2009年からは女子美術大学客員教授を務めるなど、後進の育成にも努めている。

95年、舞踏における経験から長年構想を温めていた、より身体的かつ空間的な手法によって絵画の構造またはその生まれる場に迫った〈着陸と着水〉を発表 (神奈川県立近代美術館鎌倉館所蔵)。同シリーズは、以後の美術館における個展でも様々な展開を見せ、晩年の主要なシリーズの一つとなった。2016年10月23日逝去。

作品

1. 心器へ（円筒二重）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Double Cylinders)
1972
鉛筆、木炭、色鉛筆、紙
Pencil, charcoal, colored pencils on paper
69.0 × 70.0

2. 心器へ（二つのリンゴ　ステンシルによる）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Two Apples, by stencil)
1972
鉛筆、色鉛筆、紙
Pencil, colored pencils on paper
37.2 × 46.3

3. 心器へ（二つのリンゴ）
To Shinki (To the Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
鉛筆、色鉛筆、カラーペン、紙
Pencil, colored pencils, colored markers on paper
36.6 × 46.3

4. 心器へ（二つのリンゴ）
To Shinki (To the Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
鉛筆、色鉛筆、紙
Pencil, colored pencils on paper
37.2 × 46.3

5. 心器へ（リンゴの梗と御の梶）
To Shinki (To the Vessel for Mind) (Apple's Pole and Egg's Pole)
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
36.8 × 46.3

6. 心器へ（リンゴの梗と御の梶）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Apple's Pole and Egg's Pole)
1972
鉛筆、色鉛筆、紙
Pencil, colored pencils on paper
37.2 × 46.3

7. 心器へ（銀製コンポート上の三つのリンゴ）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Three Apples on Silver Compotier)
1972
鉛筆、色鉛筆、トレーシングペーパー、テープ、紙
Pencil, colored pencils, tracing paper, tape on paper
37.6 × 46.3

8. 銀製コンポート上の三つのリンゴ
Three Apples on Silver Compotier
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.4 × 46.3

9. （無題）
(Untitled)
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.3 × 46.3

10. （無題）
(Untitled)
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.4 × 46.3

11. 心器へ（二つのリンゴ）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.2 × 46.3

12. 心器へ（二つのリンゴの描き方）
To Shinki (The Vessel for Mind) (How to Draw Two Apples)
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.1 × 46.3

13. 心器へ（二つのリンゴの描き方）
To Shinki (The Vessel for Mind) (How to Draw Two Apples)
1972
鉛筆、カラーペン、紙
Pencil, colored markers on paper
37.1 × 46.3

14. 心器へ（二つのリンゴ）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
色鉛筆、紙
Colored pencils on paper
37.0 × 46.3

15. 心器へ（リンゴの梗と御の梶）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Apple's Pole and Egg's Pole)
1972
鉛筆、木炭、紙
Pencil, charcoal on paper
37.1 × 46.3

16. リンゴの梗と御の梶
Apple's Pole and Egg's Pole
1972
鉛筆、紙
Pencil on paper
37.3 × 46.3

17. 心器へ（二つのリンゴ）
To Shinki (The Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
鉛筆、色鉛筆、カラーペン、紙
Pencil, colored pencils, Colored markers on paper
37.0 × 46.3

18. 心器へ（二つのリンゴ）設計図
Plan for To Shinki (The Vessel for Mind) (Two Apples)
1972
鉛筆、色鉛筆、紙
Pencil, colored pencils on paper
37.1 × 46.3

19. 二つの円筒 I
Two Cylinders I
1975
五色鉛筆、紙
Colored pencils on paper
80.0 × 44.0 × 13.0

20. リンゴの円筒　御の円筒 I
Apple Cylinder Egg Cylinder I
1975
色鉛筆、紙
Colored pencils on paper
80.0 × 55.0 × 13.0

21. リンゴの円筒　御の円筒 II
Apple Cylinder Egg Cylinder II
1975
木炭、紙
Charcoal on paper
80.0 × 50.0 × 13.0

22. 弓型
Arc
1980
油彩、カンヴァス、竹、紐
Oil paints, bamboo, string on canvas
186.5 × 44.0

23. 中央の速い白 XXI
Middle Swiftly White XXI
1990
カンヴァスに油彩、木炭
Oil paints and charcoal on canvas
227.0 × 290.0

24. 中央の速い白 XXII
Middle Swiftly White XXII
1990
カンヴァスに油彩、木炭
Oil paints and charcoal on canvas
227.0 × 290.0

25. 紗幕孔穿
Perforated Screen
1996
紗幕、アルミフレーム
Gauze, aluminum frame
各 420.0 × 310.0（4枚組）

a. （二つのリンゴ）資料一式
Artist's Documentation of Two Apples
1970's
鉛筆、紙
Pencil on paper

b. 「二つのリンゴ　1973–4 中西夏之」原画（27点）
Two Apples 1973–4 by NAKANISHI Natsuyuki (original drawing, 27 pieces)
1973–1974
鉛筆、カラーペンほか、紙
Pencil, Colored markers, etc. on paper

c. 「中西夏之展　着陸と着水　舞踏空間から絵画場へ」クロージング・パフォーマンス
Nakanishi Natsuyuki: Touching Down on Ground and Touching Down on Water Closing Performance
神奈川県立近代美術館（鎌倉館新館）
1995年12月24日
撮影・編集：野尾成美・勝子
The Museum of Modern Art, Kamakura
24th December, 1995
Video Documentation: Nobori Shigeyoshi, Katsuko

出品リスト　List of Works

凡例
・以下は、「コレクション展　中西夏之　光の条件」に出品された作品の一覧である。
・〈作品名〉
The name of work
制作年（Year）
素材
Material
サイズ（Size/cm）
の順に記した。
・23–25は神奈川県立近代美術館蔵（2024年度新収蔵）、その他の作品・資料は同館所蔵である。（2025年4月現在）
・諸般の事情により、展示内容が変更されることがある。

《紗幕孔穿》展示風景（部分）。一九九七年撮影　撮影：後藤充　©Natsuyuki Nakanishi

画家の言葉

…人は、自己を縛り浮遊するこの眼の迫りを顕在する度ごとに

二つのリング

7　一人は手分の頭髪を剃り捨て、他の一人は手分の頭髪を剃り捨て、髪を切ることに変えて、その間に坐る一人の男に坐る四つの目、その真中に二つで一人の男になる体を作り上げて情欲を見る方法。（妄想＝心霊）

「男性の性器と女性の子宮のように」「男性の性器と女性の子宮のように」「男性の性器と女性の子宮のように」　「九三三年四月

（原題：「男性の性器と女性の子宮のように」「男性の性器と女性の子宮のように」「男性の性器と女性の子宮のように」　「九三三年四月

…実際、眼鏡が一人前、静寂ではなくなった結果手の指の数だけ反逆は起き、“静寂”とは結果手の手の手の数を匿名とより深めるような出来事をなる結果等です。“二つのリング”、“ニンフ”の場、“ニンフ”とは、どうなったのかこの二人は結果手に二つのニンフ、ニンフ、ニンフ、